



学校だより
令和6年10月28日
(2024年) 第8号
城陽市立城陽中学校
www.kyoto-be.ne.jp/joyou-jhs/cms

～生徒会スローガン～
一歩ずつ進み続ける日本の中学校
～育てよう 当たり前基準～

集団の一体感

11月

暑い日差しのなかスタートした2学期も、肌寒さを感じるようになりました。

体育大会、中間テスト、合唱コンクールと、目まぐるしく日々を過ごす中、気がつけば2学期も半分を終えようとしています。

この間に行われた大きな行事では、リーダーが中心となり、クラスや学年・縦割りブロックに働きかけて、集団が一体となる姿が多く見られました。

はじめはリーダー数人の“想い”からのスタートだったかも知れません。温度差や、意見のすれ違いで苦しんだ時間もあったことでしょう。想いをぶつけすぎてばかりで、衝突したり後ろ向きになったりしたことも、もしかしたらあったかも知れません。

それでも、自分以外の誰かの“想い”に応える集団だったからこそ、作り上げられたものがあります。城中の生徒の良さは、この“想い”に応える力にあるのだと思います。「集団を良くするために」という想いを持って頑張る人の働きに気づき、応えようと自分を変化させる人が集まっていること。受賞という形にならなくとも、とても素敵なことなのだと胸を張ってください。

合唱コンクール

てんかむそう
天歌夢奏 ～心震わす歌声を～

★金賞★ 3年3組「ヒカリ」
2年2組「YELL」
1年1組「地球星歌
～笑顔のために～」

★銀賞★ 3年2組「虹」
2年3組「With You Smile」
1年3組「あさがお」

10/24(木)に、文化パーク城陽において合唱コンクールを実施しました。

体育大会が終わり、中間テストを挟んですぐに始まった取組では、体育大会で培った力を、しっかりと発揮することができました。受賞の有無はあれど、どのクラスも一丸となって一生懸命取り組む姿に、胸が熱くなりました。

また、学年合唱の取組においては、どの学年も集団の前進を感じさせる素晴らしい姿でした。特に3年生は、城陽中学校での特別活動の集大成として、圧巻の歌声を披露し、ホールを感動の渦に巻き込んでくれました。



輝く城中生 山城駅伝大会結果



10月12日(土)に、山城駅伝大会が開催されました。

3年生が参加する中体連主催の大会として、今年度の最後に行われる公式大会であり、もっとも長期間に渡り、文武両道を求められるのが、この山城駅伝大会に参加する3年生です。

日頃の練習の成果を発揮し、最後まで粘り強く襷をつなぎ、大健闘を見せてくれました。全員が自分の区間の走りを全うし、走者以外を含めチームとして素晴らしい頑張りでした。

男子 総合17位

1区
2区
3区
4区
5区
6区

女子 総合27位

1区
2区
3区
4区
5区



生徒会引継

次の世代へバトンタッチ

10月10日の選挙により、新たに生徒会本部役員が選出されました。

歴代の生徒会本部役員に勝るとも劣らない、素晴らしい演説が見られました。どの候補者も「城中を良くしたい」「みんなにとってさらに過ごしやすい学校に発展させたい」という熱い思いを、自分の言葉に乗せて伝えていた姿が印象的でした。

演説で語ってくれた思いを形にしていくには、時間がかかることもあるかも知れません。しかし、**自分達が主体となって具体的な動きを創り出していこうとする立候補者の熱意に、**さらなる城中発展の兆しが見えた気がします。

さらに素晴らしかったのは、それを聞いていた皆さんの姿勢です。静かに聞くだけでなく、「主権者が自分達だ」という意識で真剣に演説に耳を傾ける姿が見られました。

特に2年生。演説者の話に頷きながら熱心に内容に聞き入るなど、「ここから先の学校のリーダーは自分達だ」という気持ちが、聞き手の側にも表れており、とても素晴らしかったです。

新たな城中の顔として、頑張れ2年生！！



11月の主な予定

1日(金)	3年進路面談・面接練習(～8日) 市内一斉あいさつ運動 城中ブロック特支交流会
4日(月)	第36回オータムコンサート
6日(水)	3年保育実習
8日(金)	3年保育実習 2年多様性理解学習
9日(土)	学校公開日(給食なし・お弁当必要) P T A花の植替え
11日(月)	振替休日
15日(金)	3年保育実習 1年多様性理解学習(LGBTQ講演)
18日(月)	諸費振替日
20日(水)	期末テスト1日目(給食なし・お弁当不要)
21日(木)	期末テスト2日目(給食なし・お弁当不要) 新入生保護者説明会
22日(金)	期末テスト3日目 小6部活動体験
28日(木)	諸費再振替日

11月

【テスト前部活動停止】13日(水)～21日(木)
【平日部活動休養日】6日(水)・25日(月)・27日(水)・28日(木)

個性の活きた一体感

体育大会も合唱コンクールも、クラスや学年、ブロックが一体となる瞬間がいくつもありました。本当に感動しました。

“個性の活きた本物の一体感”と“個性の失った見せかけの一体感”は、何が違うのか。それは、一体となった「理由」と「過程」に違いがあるのだと思います。

外側からの力で支配され、一体感を求められていたのか、

内側からの力で繋がって、一体感が生み出されたのか。

力の持ち主が自分だと自覚し、その力を何のために使うのかを考えられるようになった人には、違いがよくわかるのではないのでしょうか。

誰かに指示をされて従っただけでは、“見せかけの一体感”となるでしょう。

「自分の力を誰かのために使いたい」という想いの結集が、“本物の一体感”なのだと思います。大きな行事の取組期間中、自分の所属する集団を大切にしたいという想いから生まれる、“個性の活きた本物の一体感”をたくさん目にしました。

この力は、これからの城中をさらに大きく成長させてくれることと思います。クラス・学年で得た力の、今後の活かし方に期待しています。